

教育研究創発機構

第5回 公開研究会 塾から見た学校教育

学校週5日制以来、地域の学習環境の見直しが必要となっている。地域にある塾の存在が、子どもたちの生活に与える影響はさらに強くなってきているともいえる。そして大手塾から個人塾まで塾も多様化してきている。最近の子どもたちの学習や発達傾向、塾と学校のこれからの関係や可能性について、塾の内側から語っていただくことで、これからの子どもたちの学習のあり方と教育について考える。

日時： 2005年1月8日(土) 午前10時～12時

場所： 東京大学赤門総合研究棟 200番教室

< 発表者・演題 >

教育評論家・ベル学院院长 小宮山博仁 氏

「塾から見た学校教育」

塾が学校教育に与える影響とは？ 塾と学校は共存できるか？

*

花まる学習会 代表 高濱 正伸氏

「塾から見える学校 - 学校は必要か」

学習法指導、意欲を持たせる方法、個別対応、人事制度について

指定討論者：矢野眞和(東京大学大学院教育学研究科

比較教育社会学コース教授)

市川伸一(同研究科教育心理学コース教授)

*

司会：苅谷剛彦 (機構長・学校臨床総合教育研究センター長)

参加ご希望の方は下記連絡先にご一報ください

共催：東京大学大学院教育学研究科附属

学校臨床総合教育研究センター

基礎学力研究開発センター

第3回基礎学力シンポジウムが同日午後と翌9日に

東京大学 鉄門記念講堂にて開催予定です

連絡先：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

電話 03-5841-3916/Fax 03-5804-3826 E-mail: kikou@p.u-tokyo.ac.jp

ホームページ：http://www.p.u-tokyo.ac.jp/kikou/